

# 旅と語り / Stories of Travel

中世アラビア語およびヘブライ語文学を中心に  
in Arabic & Hebrew Literatures in the Middle Ages



**7/19 TUE**  
**10:30-12:00**  
総合人間学部棟  
1207 講義室

**Dr Haitham Mahmoud Sharqawy**

**ハイサム・マフムード・シャルカーウィー博士**

エジプトのナグ・ハマディ出身。中世のアラビア語文学およびヘブライ語文学の研究者。専門は、アラビア語とヘブライ語で書かれたマカーマート（説話文学）についての比較文学研究である。エジプトのサウスヴァリー大学で博士号を取得。現在は、サウスヴァリー大学で、ヘブライ語とヘブライ語文学を教えている。



講演要旨：本講演が主題とするマカーマは、散文でありながらも一定の韻を踏む文体で書かれた物語で、古典アラブ文学である。このマカーマを集めた説話集はマカーマート（マカーマの複数形）と呼ばれる。そこでは主人公が各地を放浪しながら、巧みな語りや演技で金品を得る様子が、語り手の視点から伝えられる。各物語の冒頭には場所の名前が書かれるのが常であった。マカーマートにおいて「旅」は、作者の想像力による文学的技法なのか、それとも作者自身の経験を反映したものなのか。本講演ではアラビア語文学だけでなく、ユダヤ人がヘブライ語で残したマカーマートと比較しながら、マカーマにおける「旅と語り」について解説する。

人間・環境学研究科の客員教授による、英語の講演です。ふるってご参加ください。

主催：人間・環境学研究科 国際交流委員会

問い合わせ先：同委員会委員／受入教員：勝又直也（内線 6624）

katsumata.naoya.5c@kyoto-u.ac.jp